

平成27年度
愛知県臨床検査精度管理調査報告会

一般検査部門
精度管理調査報告会

名古屋大学 医学部附属病院 医療技術部
臨床検査部門
岩崎 卓識

サーベイ項目と目標値

- ★ 尿定性検査：（試料41・42）サーベイ用に調整された試料

尿試料	試料41	試料42
蛋白	(1+)	(2+)
糖	(1+)	(3+)
潜血	(1+)	(3+)

目標値をA評価（正解）、目標値から上下1段階までをB評価（許容正解）、2段階以上外れたものをD評価（不正解）

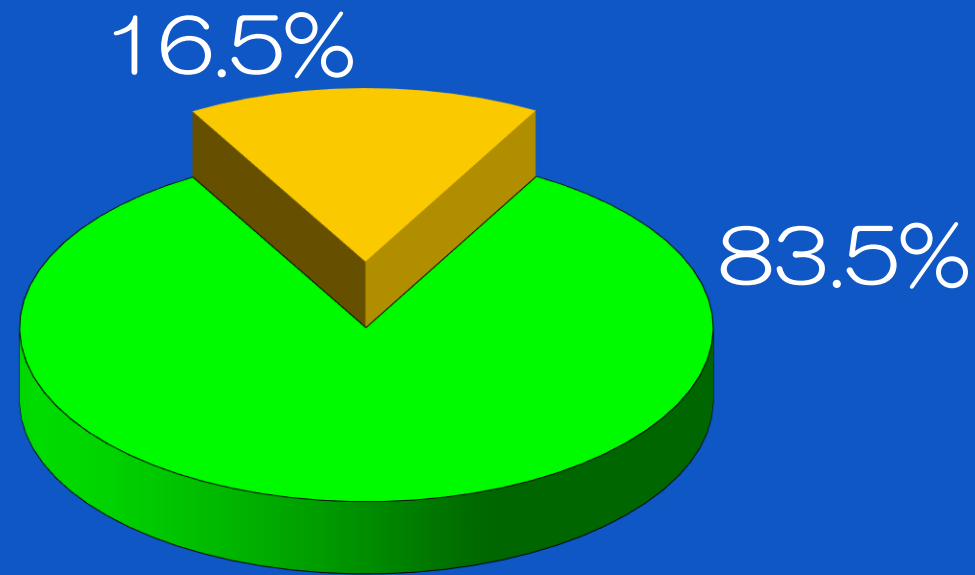
- ★ 便潜血検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）：（試料43・44）
サーベイ用に調整された擬似便

便試料43	便試料44
(+)	(+)

目標値をA評価（正解）、目標値から外れたものをD評価（不正解）

- ★ フォトサーベイ（写真問題）
10題（尿沈渣8題、脳脊髄液1題、寄生虫1題、写真15枚）
正解をA評価、不正解をC評価とした。

尿定性検査判定方法 (n=115)



■ 目視判定 (19) ■ 機器判定 (96)

近似選択法
(切り捨て法の施設は無し)

() 内は施設数

尿定性検査（蛋白）_(n=115)

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	6	5.2	B	±	0	0.0	
1+	109	94.8	A	1+	1	0.9	B
2+	0	0.0	B	2+	113	98.2	A
3+	0	0.0		3+	1	0.9	B
4+	0	0.0		4+	0	0.0	

尿定性検査（糖）_(n=115)

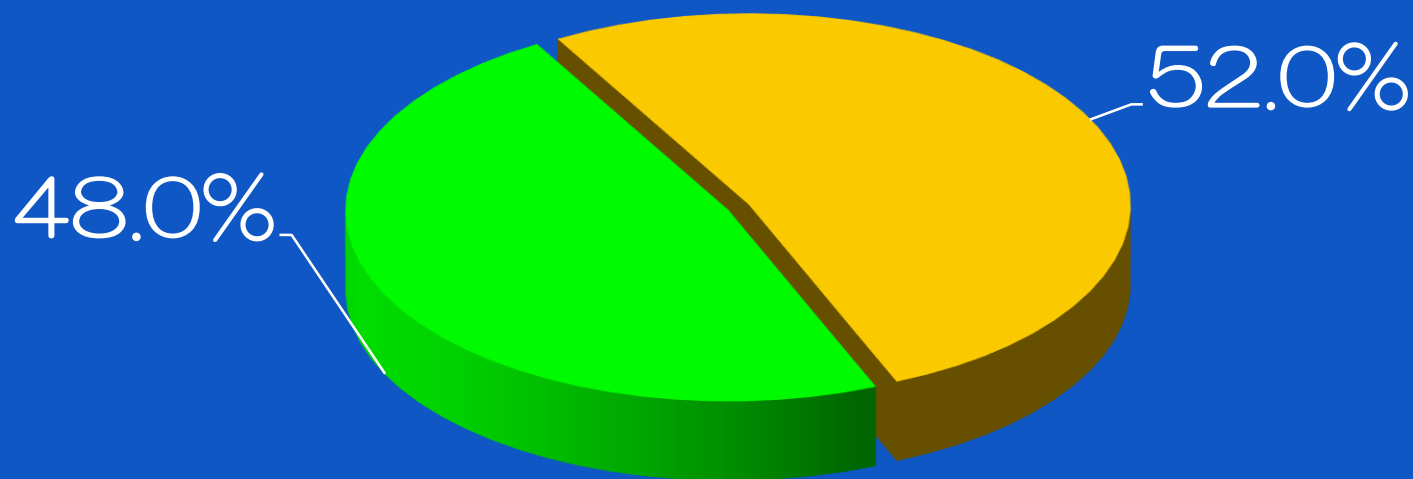
定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	1	0.9	B	±	0	0.0	
1+	106	92.1	A	1+	0	0.0	
2+	8	7.0	B	2+	2	1.7	B
3+	0	0.0		3+	101	87.9	A
4+	0	0.0		4+	12	10.4	B

尿定性検査（潜血）_(n=115)

定性	試料41			定性	試料42		
蛋白	施設数	回答率 (%)	評価	蛋白	施設数	回答率 (%)	評価
-	0	0.0		-	0	0.0	
±	6	5.2	B	±	0	0.0	
1+	96	83.5	A	1+	0	0.0	
2+	12	10.4	B	2+	2	1.7	B
3+	0	0.0		3+	113	98.3	A
4+	0	0.0		4+	0	0.0	B

尿定性検査におけるA評価+B評価は、蛋白、糖、潜血いずれも100%

便潜血検査判定方法 (n=98)



■ 目視判定 (51)

■ 機器判定 (47)

() 内は施設数

便潜血検査

定性結果	試料43		試料44	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
(-)	0	0.0	1	1.0
(+)	98	100.0	97	99.0
合計	98	100.0	98	100.0

便潜血検査におけるA評価は、試料43では100%、試料44では99%

採便手技による変化

H27	施設数	平均値 ($\mu\text{g/g便}$)	標準偏差
試料43 ($100.0\mu\text{g/g便}$)	44	88.87	11.79
試料44 ($60.0\mu\text{g/g便}$)	44	58.58	7.16

※D評価の1施設のデータを除いた値

(参考：H26)	施設数	平均値 ($\mu\text{g/g便}$)	標準偏差
試料44 ($60.0\mu\text{g/g便}$)	46	57.74	11.53

フォトサーベイの正解率

	評価A (%)	評価C (%)
設問1	87.8	12.2
設問2	97.2	2.8
設問3	98.2	1.8
設問4	81.3	18.7
設問5	100.0	0.0
設問6	100.0	0.0
設問7	100.0	0.0
設問8	100.0	0.0
設問9	99.0	1.0
設問10	96.1	3.9
平均正解率 (%)	96.0	4.0

フォトサーベイ（設問1・4について）

設問		回答	件数	割合(%)	評価
設問1	1	A：非系球体型赤血球 B：非系球体型赤血球	94	87.8	A
	2	A：非系球体型赤血球 B：系球体型赤血球	11	10.3	C
	3	A：系球体型赤血球 B：非系球体型赤血球	2	1.9	C
設問4	2	上皮円柱	20	18.7	C
	5	上皮円柱＋脂肪円柱	87	81.3	A

一般検査部門 精度管理調査まとめ

- ★ 今年度の精度管理調査参加施設は、尿定性検査115施設、便潜血検査98施設、フォトサーベイ107施設であった。昨年度と比べ、参加施設数はほぼ同等であった。
- ★ 尿定性検査のA評価+B評価は、蛋白、糖、潜血いずれも100%であり、JCCLS尿検査標準化委員会の指針に、ほとんどの施設が準拠しており、良好な結果が得られた。
- ★ 便潜血検査の定性結果は、目視判定が正解率100%、機器判定は99%と概ね良好であった。本年度は、採便容器への採取方法・処理方法について、厳密に実施手順書に指示したが、平均値はほぼ変化が無かったが、標準偏差（分散）が大きく低下した。
- ★ フォトサーベイについては、前年同様、平均正解率が96.0%と昨年の98.5%よりも低下したが、概ね良好な結果であった。来年度も「尿沈渣検査法2010」の分類基準に従い回答していただく予定である。